

住民説明会を実施



↑住民説明会の様子

5月19日、広野町中央体育館で住民説明会を実施しました。各課の課長が令和元年度の主要施策および重点事業について説明し、町民からは、田んぼの水不足に関する要望、駅東側の町道に関する質問、通学路の防犯灯等の設置状況に関する質問、広野駅のエレベーター設置計画に関する質問、火葬場の建設計画の現状についての質問などがあり、担当課長が詳細について説明しました。

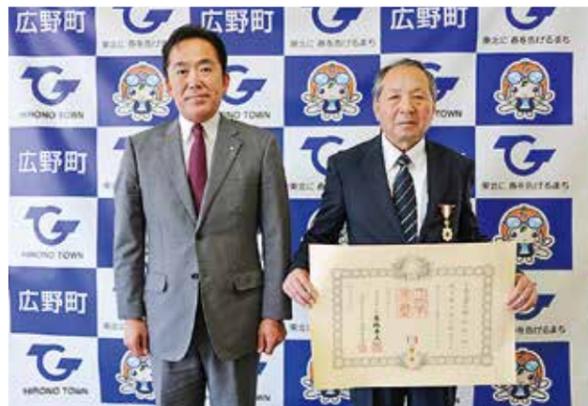
田んぼアートプロジェクトを実施



↑雨の中、田んぼアートプロジェクトのために町内外から集まった参加者ら

6月8日、町内の下浅見川の水田において、町のキャラクター「ひろぼー」を描く田んぼアートプロジェクトを実施しました。町の復興に向け営農再開が進んでいる姿を広く発信することを目的に「令和元年」や「ひろの」の文字とひろぼーやとんぼの絵が浮かび上がるように数種類の苗を植えました。雨の中、住民やふたば未来学園中学生ら約150人が参加し、泥だらけになりながら丁寧に苗を植えました。

鈴木紀昭前広野町議会議長が旭日双光章を受章



↑受章報告に訪れた鈴木紀昭前広野町議会議長

6月4日、鈴木紀昭前広野町議会議長が広野町役場を訪れ、今春の叙勲で旭日双光章を受けたことを遠藤町長に報告しました。

遠藤町長は、「受章は広野町にとっても誇りです。今後とも町政発展にご協力をお願いします。」と祝意を述べました。鈴木紀昭さんは、「受章はこの上ない誇りである。苦しい時に支えていただいた家族や町民のみなさんに感謝します。」と挨拶しました。

常磐興産株式会社と包括提携協定を締結



↑締結の様子

6月21日、広野町役場において、広野町と常磐興産株式会社は包括提携協定を締結しました。この協定は、町で栽培が始まっているバナナを同社が運営するスパリゾートハワイアンズで全国から訪れる来場者にPRする他、おみやげ品などとして販売し、観光振興につなげるものです。締結式では、遠藤町長と同社の井上直美社長が協定書に署名し、協定締結を記念し、バナナの苗木を中津弘文広野町振興公社社長から井上社長に手渡されました。遠藤町長は、「観光と産業の復興に新たな一歩を踏み出していきたい。」と、井上社長は、「復興を加速化させ、すばらしい町をつくるための手助けをしていきたい。」と挨拶を述べました。

令和元年6月6日 広野町・議会が合同で渡辺博道復興大臣へ要望書を提出



↑渡辺復興大臣に要望書を手渡す遠藤町長と議会議員

6月6日、広野町と広野町議会は合同で、東京都内の復興庁を訪問し、渡辺博道復興大臣に要望書を提出しました。要望事項として、①復興推進体制の継続、②東町地区産業団地（仮称）の整備等、③「防災拠点・道の駅ひろの」（仮称）の整備への財政支援等22項目について、町民の皆さまの生活再建や町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。同日、原田環境大臣、磯崎経済産業大臣、自民党本部へも要望書を提出しました。

福島県警察本部長、富岡地区安全運転管理者協会長より連盟表彰



↑双葉警察署長による表彰状伝達式の様子

5月30日、広野町は、福島県警察本部長、県安全運転管理者協会長連盟表彰を受けました。これは、春、秋の全国交通安全運動にあわせ広野町役場職員全員が役場前国道6号において交通立哨活動を行い、一致協力して交通安全活動を推進し、交通事故防止に尽力したことが評価されたものです。表彰状伝達式は、広野町役場で行われ、遠藤町長に表彰状が手渡されました。

双葉地方町村会要望活動を実施



↑内堀雅雄福島県知事に要望書を提出した各町村長

6月17日、双葉地方町村会は、内堀雅雄福島県知事に対し要望活動を行いました。

要望事項として、①避難地域の復興に実現、②復興推進体制の継続、③原子力発電所事故の収束と住民への迅速かつ正確な情報提供、④帰還困難区域の取扱い、⑤中間貯蔵施設および最終処分場の確保・整備・安全管理、⑥復興に向けた人員の確保、⑦福島イノベーション・コースト構想の着実な実現等15項目を双葉地方の復興が成し遂げられるまで対応するよう要望しました。

沼津学園桐陽高校生徒が町民と交流



↑学校法人沼津学園の桐陽高校1年生と交流する広野町民

6月13日、静岡県にある学校法人沼津学園の桐陽高校1学年生徒56人が広野町東側開発地区を訪れ、2年前に植樹した河津桜周辺の除草や添え木の手入れ作業を行いました。また、作業後は、広野町公民館で広野町社会福祉協議会や町民約30人と交流し、震災当時の状況や避難生活などの体験談を真剣に聞いていました。この交流は今年で5回目となります。